

第6号 1周年記念号 2012年11月

夢気球だより

「夢気球だより」編集部 発行
〒610-0121
城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階
城陽市国際交流協会内
電話 0774-57-0713



「チーズ？」 それとも 「イー・アル・サン？」 (カメラ：広報 渋谷)

「夢気球」発足 1周年記念

学習者・支援者交流会

学習者とボランティアが初めて交流！

10月21日(日)、「夢気球発足1周年記念交流会」が城陽市国際交流協会で開かれました。参加者は43名(学習者15名の内、休講中が3名・児童6名・支援ボランティア22名)の大人数となり、会場一杯の状態にて、教室紹介、折り紙、カルタ、歌などを一緒に楽しみ、交流しました。

午後1時半、会場には次々と学習者、支援者が訪れ、3つのテーブルに座りました。もうあちこちで、おしゃべりの花が咲いています。子ども連れの学習者もおられとてもにぎやかです。初めて出会った方も、昔からの知り合いの様です。会場は、すでに交流会モードです。杉島代表があいさつに立ち、「日本に来て良かったと思ってもらえるように」という私達の思いを語り、交流会はいよいよ始まりました。

自己紹介は 日本語で！ 緊張・感動・激励



「ばれっとJOYO」の皆さん

まず、教室ごとの自己紹介です。

最初は日曜日の「ばれっと教室」6人の学習者。みんな20代の青年たちです。渋谷さんの「この教室はなぜか日曜日です」という説明のあと、紹介のトピックはベトナム出身のトゥアンさんです。勉強してきた日本語で「私

「1周年によせて」

夢気球発足1周年を盛況な交流会でお祝いすることができました。昨年5月からの養成講座に關わった京都府国際センター、講師陣、Ringsのメンバー、以前のからの支援者など本当に多くの人たちの努力や希望を出発点として、1周年を迎えられたことに感謝しています。

2点目は、毎週の夢気球役員会

が開かれて、タイムリーに計画や課題を活発に検討して、メンバーや協会とコミュニケーションしてきていることです。1年目ですが手探りでした。普段は教室単位での活動なのから、支援者など本当に多くの人で、全体としてどうかという不安もありましたが、交流会に集まった活動中の支援者・学習者+aの多様な笑顔には、人同士のつきあいが溢れている証だと感動しました。

これから夢気球メンバーの皆様ですが、夢気球の活動の特色のひとつは、協会とばれっとJOYOが利用できることから、学習者・支援者ともに都合の良い時間ある交流となるように、協会も努力を寄与添った日本語学習の機会を展開していることです。

(国際交流協会 大久保記)



中国出身の皆さん



ウィーさんご一家



協会とボランティアの皆さん

ボランティアも 楽しみながら

折り紙でツルを

プログラムの2つ目は折り紙のツルを作ります。前西山さんの説明が始まりました。あちこちのテーブルでボランティアが教えています。人に説明することは難しいです。それでもコミュニケーションの方法は多様で、言葉だけではなく、手や身振りでお手伝いしていました。女性のボランティアの活躍がたいへん目立ちました。(男性は?) みなさん、カラフルで格好いいツルができていました。



「ここは、どうするの?」

熾烈、カルタ取り

次はお待ちかねの50音カルタ取りです。学習者もボランティアも目を光らせ、耳を研ぎ澄ませ、読み手の伏見



「両手を上げて、待機！」

みんなが輪になって歌う

「しあわせなら手をたたこう」を村上さんの音頭で身振りをしながら歌いました。今日の為に練習をしてくれたウィーさんのギター伴奏付きです。3番は隣の人の肩をトントンですばらしいコミュニケーション

写真はチーズ? 1,2,3,?

最後に全員で記念写真。写す時はお国では何と云うのでしょうか。ベトナムの言葉は長かったですね。今日の参加者のみなさんのどんな顔が写っているか楽しみです。こうして、1周年記念集は台風による延期にもかかわらず盛会に終わりました。もちろん、終了後も話の輪になりまして、次の様に感じました。



みんなで大合唱

広報より

予想を上回る参加者を得て、2日に交流会が行われ、過日の台風に感謝をする様な賑わいとなりました(前回予定ではもっと参加者は少なかった)。支援者間の交流会は何回か開催されたのですが、同じ曜日でレッスンされている学習者同士の交流はあったにせよ、ばれっとJOYOでの参加者も含めた横断的な集まりは、今回が初めてだったので、喜んで戴いた様で、よかったです。

感想を簡潔書きにしてみよう、次の様になります。

①何よりも嬉しかったのは、「かって一緒に勉強し、事情があり休講中の学習者」の参加があった事。

②学習者の子供達も計6人が参加してくれ、それぞれ楽しんでる様子だった事。

③終了時間ギリギリに駆けつけて下さった支援者の方がおられた事。

④約2時間30分の集まりでしたが、結構中身が濃くて(こういうのを自画自賛と言いますが)段取り面では若干の反省もありましたが、皆さん楽しんで貰えたのではと思っています。

今回の経験を通して学習者/支援者相互の交流が促進できる様に、智恵を絞りたいと思っております。皆さん、お疲れ様でした。

(広報 村上記)